

# 会社情報・株主メモ (2024年3月31日現在)

## 会社の概況

商号 株式会社ミマキエンジニアリング  
設立 1975年8月  
資本金 43億5,746万円  
事業内容 コンピュータ周辺機器及びソフトウェアの開発・製造・販売  
業種区分 電気機器  
従業員 連結2,047名/単体854名

## 役員一覧

代表取締役社長 池田 和明  
専務取締役 竹内 和行  
常務取締役 清水 浩司  
取締役 羽場 康博  
取締役 牧野 成昭  
取締役 古平 武史  
取締役 森澤 修二郎  
社外取締役(常勤監査等委員) 善野 洋  
取締役(監査等委員) 田中 規幸  
社外取締役(監査等委員) 田中 誠  
社外取締役(監査等委員) 荒井 寿光  
社外取締役(監査等委員) 蓑毛 誠子  
社外取締役 沼田 俊介

## 会計監査人(2024年6月21日現在)

かなで監査法人

## 株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで  
定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内  
基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
公告方法 当社ホームページ(<https://ir.mimaki.com/>)に掲載いたします。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
上場金融商品取引所 東京証券取引所プライム市場  
証券コード 6638

### (ご注意)

- 株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

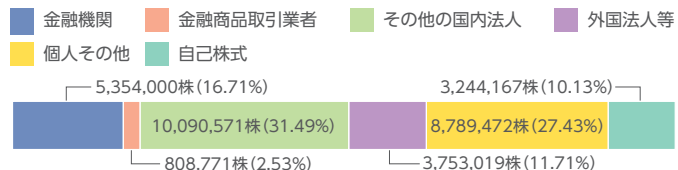
## 株式の状況

発行可能株式総数 128,160,000株  
発行済株式の総数 32,040,000株  
株主数 4,139名

## 大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社池田ホールディングス	5,064,000	17.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,176,500	11.03
株式会社田中企画	2,230,000	7.74
田中 規幸	2,036,400	7.07
東京中小企業投資育成株式会社	1,529,000	5.31
ミマキエンジニアリング従業員持株会	1,185,300	4.12
株式会社日本カストディ銀行	928,000	3.22
株式会社八十二銀行	840,000	2.92
アデキパートナーズ株式会社	833,200	2.89
GOVERNMENT OF NORWAY	331,200	1.15

## 所有者別状況



## ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報やプレスリリースなどの最新の情報に加え、当社の事業概要、製品、サービスをより深くご理解いただくためのコンテンツをご覧いただけます。ぜひアクセスしてください。



企業・IR情報 TOPページ

IRライブラリ

携帯電話やスマートフォンをお使いの方は右のQRコードからもアクセスできます。

アクセスはこちら

<https://ir.mimaki.com/>

公式SNSはこちら

- Facebook <https://www.facebook.com/mimakiengineering/>
- YouTube <https://www.youtube.com/user/MimakiPR/videos>
- Instagram [https://www.instagram.com/mimaki\\_japan/](https://www.instagram.com/mimaki_japan/)

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



# BUSINESS REPORT 2024.3

2024年3月期 第49期報告書  
2023.4.1-2024.3.31



特集

次世代の捺染システム

トラピス

TRAPIS

捺染顔料転写システム

TRAPIS

Transfer Pigment System



TS330-1600

詳細はP.9



証券コード  
6638

私たちは、独自のラスタ技術 (インクジェット等) とベクター技術 (カッティング等) を柱とした市場志向の製品開発により、デジタル・オンデマンド生産のマーケットリーダーを目指しています

### 経営ビジョン

- 1 ▶ 独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する「開発型企业」を目指します。
- 2 ▶ 顧客に満足いただける製品を素早く提供する小回りの利いた会社を目指します。
- 3 ▶ 市場に常に「新しさの違い」を提供するイノベーターを目指します。
- 4 ▶ 各人が持っている個性・能力を一杯発揮できる企業風土を目指します。

### ミマキが目指す組織と企業像

イノベーターの集団であり続けるために、そして各人が持っている個性、能力を一杯発揮し、マーケットの潜在ニーズを素早く捉え解決するために、当社では技術・営業・生産・グローバル人財総務・コーポレート統括の5本部体制のもと、小集団によるグループ別独立採算制を追求するGIPS経営を行っています。

GIPS (Group Independent Profitability management System) では、各グループが明確な役割と責任を持ち、それぞれがあたかも町工場であるかのように自主的に活動します。

そして各グループの活動成果としての付加価値を明確にし、各グループにおいてリーダーを中心に自部門の採算向上を実現するため、各グループのメンバー全員が問題点を共有し、その解決にあたります。これらを通し社員全員が経営に参加し、一人ひとりが採算意識を持ち、信頼をベースにした葡萄の房のような小さな果実の集合体にしていきたいと考えています。

代表取締役社長 池田 和明



## トータルソリューションの提供により、 導入から成果物の品質までサポート

当社グループは、産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、インク等の開発・製造・販売・保守サービスを一貫して行う開発型企業です。独自のコア技術を駆使し、デジタルトランスフォーメーションのさらなる進展を推し進め、導入から成果物の品質までをサポートするソリューションプロバイダーとしての役割を担ってまいります。

### ソリューションプロバイダー

前工程・プリント/カット/コート・後工程の一貫システムによるトータルソリューションを提供



### 社会・顧客ニーズ

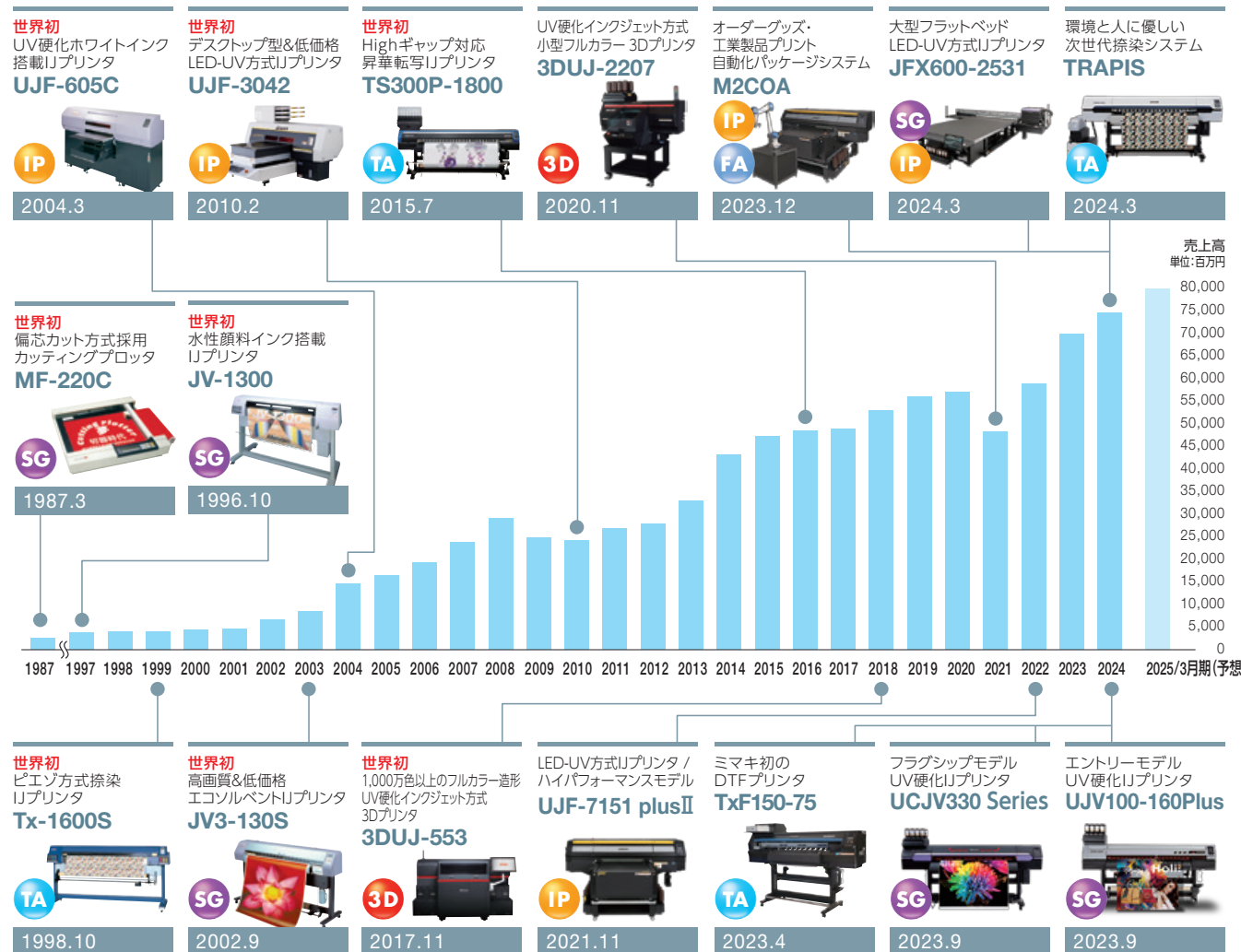
- 1 少量多品種生産
- 2 生産品の高付加価値化
- 3 ランニングコスト低減
- 4 リードタイム短縮
- 5 在庫レス
- 6 環境経営
- 7 無人化・省人化
- 8 eコマース環境構築(小売業)



## Mimakiのコア技術

## Mimakiの歩みはイノベーションの歴史

デジタル・オンデマンド生産のマーケットリーダーとして、多様なニーズを迅速かつ的確に捉え、そこに狙いを絞った製品を素早く提供することで、今後も新たな市場と顧客を創出してまいります。



# 3つの販売市場に向けた製品提供とFA事業の展開

各市場のプレーヤーにとって最適な製品を常に提供し、各市場の拡大を推進。

**SG**  
サイン  
グラフィックス  
Sign Graphics

大型ポスター、カーラッピング、のぼり旗、表示板といった広告・看板等、街を彩るビジネスシーンで活躍している当社の主力製品群。

活用事例





主なプリント素材

- ・塩ビシート
- ・バナーシート
- ・ウィンドウフィルムなど

**TA**  
テキスタイル・アパレル  
Textile & Apparel

裁断・縫製加工前の生地や既製服などファストファッション・スポーツウェア業界のほか、ファニチャー業界で拡大している製品群。

活用事例





主なプリント素材

- ・ポリエステル
- ・レーヨン
- ・綿
- ・絹
- ・合成皮革など

**IP**  
インダストリアル  
プロダクツ  
Industrial Products

自動車の計器パネルや家電類の操作パネル等の工業製品のほか、一般消費者向けのギフトやノベルティ、オーダーグッズ等の生産現場等で使用されている製品群。

活用事例





主なプリント素材

- ・プラスチック
- ・アクリル
- ・ガラス
- ・金属
- ・木材など

**3D**  
3Dプリンタ  
3D Printer

1,000万色以上のフルカラー造形から、高さ1.8mまでの超大型造形まで3Dプリンタによりプロダクトデザインやフィギュア、立体看板で活用されている製品群。

**FA**  
ファクトリー  
オートメーション  
Factory Automation

ベクター技術、メカトロニクス技術をもとに5つの事業を展開。オンデマンド型のデジタルコーティングマシンで印刷からコーティングまで生産工程の全自動化にも対応。

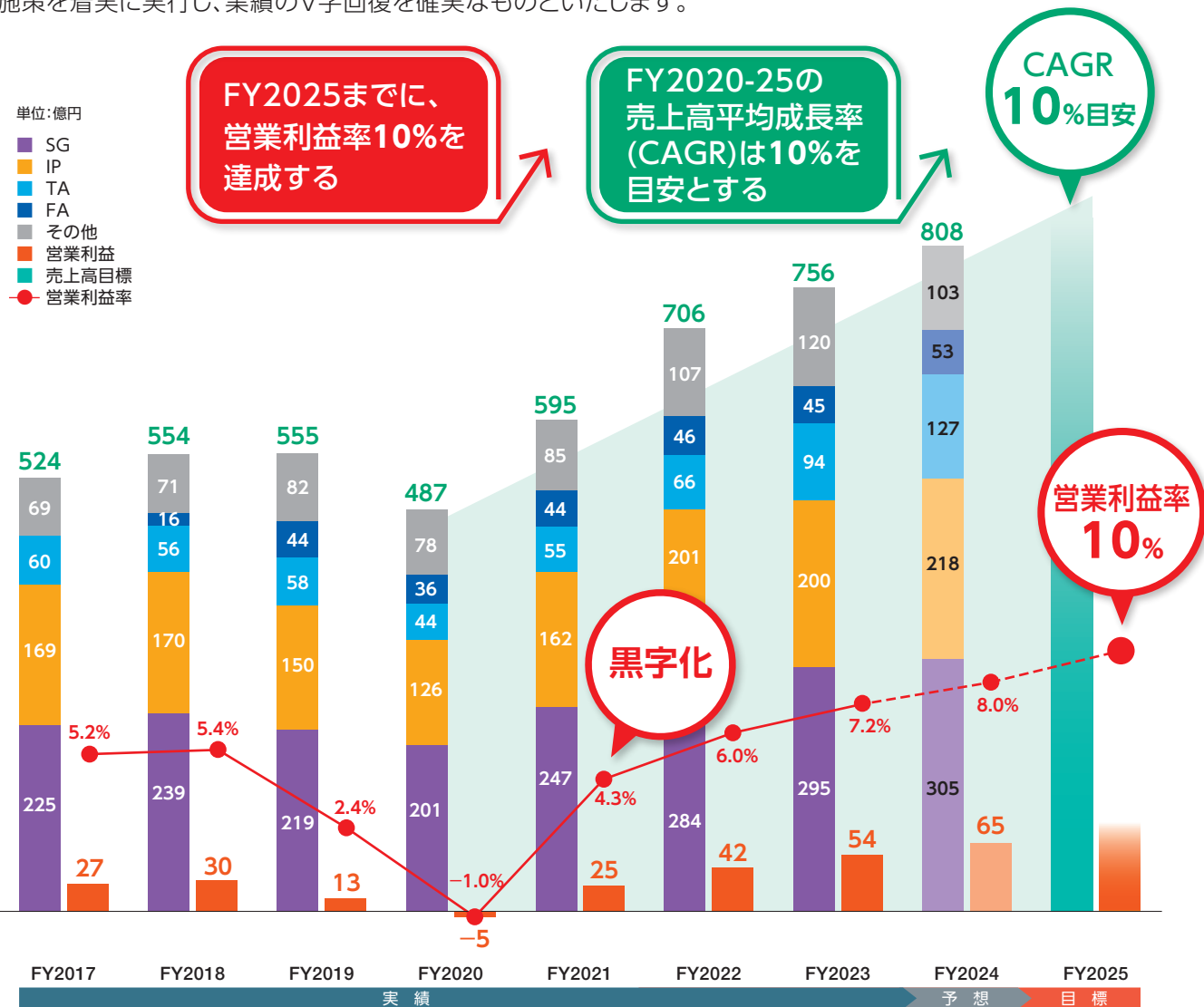
活用事例





# 中長期成長戦略 Mimaki V10

当社は中長期成長戦略「Mimaki V10」で定めた目標：2025年度までに営業利益率10%の達成に向けた施策を着実に実行し、業績のV字回復を確実なものいたします。



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。  
ここに、第49期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の事業の状況について、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 池田和明



## 2024年3月期の業績について

2024年3月期(以下、当期)の連結業績は、売上高756億31百万円(前期比7.1%増)、営業利益54億80百万円(同29.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益37億7百万円(同32.1%増)と増収・大幅増益となり、売上高及び営業利益以下の各段階利益は、過去最高を更新しました。

当期における世界経済は、高水準のインフレの継続や、各国中央銀行や政府による金融政策などの影響が続くなかで、地政学的リスクの高まりなどを含め、全般的に不透明な状況が継続しました。北米では、個人消費を中心に景気が堅調に推移しました。欧州では、ウクライナ侵攻の長期化を背景に景気の停滞が継続しました。わが国は、輸出需要の増加などに加え、インバウンド需要の回復などにより、経済の持続的な回復が期待されています。このような環境のなか、当社グループでは2020年12月に制定した中長期成長戦略「Mimaki V10」で定めた重点施策に基づき、新製品の市場投入と販売拡大、市場環境や顧客ニーズの急激な変化を見据えた事業展開、収益性向上に向けた基盤構築を継続してまいりました。

当期の売上高は、期を通じて為替の円安によるプラス影響も加わり、増収となりました。製品市場別では、TA市場向けにおいて今期市場投入したDTF(Direct to Film)機TxF150が、先進国を中心に好調な販売が継続しました。また、前下期ではバックオーダー解消に伴う販売が拡大したSG市場向けや、同じく前期に新製品が好調に推移したIP市場向けでは、プリンタ本体の販売が減少したものの、インクの販売は堅調に推移しました。エリア別では、欧州の販売が景気停滞の影響を受け前期を若干下回りました。一方で、日本はIPやTAを中心に好調な販売が持続し、アジア・オセアニアでは前期がコロナ禍の影響により低調だった中国での販売が大幅に伸長しました。北米も、景気拡大の動きを受けて特にTAが牽引し堅調に推移しました。利益面では、前期に調達した半導体等の高コスト部材を使用した製品の販売が継続したものの、輸送コストの減少に加え、全般的なコスト上昇に対応するための販売価格見直しを適切に進めた効果もあり、売上原価率が改善しました。販売管理費は、各国でのインフレ進行に見合った人件費の増加に加え、今後の新技術・新製品開発に向けた研究開発費や、グローバルでの展示会への積極的な出展等の営業活動の活性化に伴う費用が増加しましたが、売上高比率の増加は最小限に抑制しました。これらに加え、為替のプラス効果もあり、大幅増益となりました。

## 2025年3月期の連結業績見通しについて

2025年3月期(以下、今期)の連結業績予想は、売上高808億円(前期比6.8%増)、営業利益65億円(同18.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益40億円(同7.9%増)といたします。

今期の世界経済は、北米や欧州におけるインフレ鎮静化とそれに伴う政策金利の引き下げに向けた動きが見込まれる一方で、中国の経済成長率鈍化や、ウクライナ及び中東情勢のさらなる悪化等の地政学リスクの高まりに加え、米国大統領選挙がもたらす政治的な影響等、世界経済の先行きは依然不透明であり、予断を許さない状況が継続するものと見込んでいます。

このようななか、売上高は、不安定な世界経済や、中東情勢の悪化に伴う海上輸送リードタイム長期化等の影響を受ける見通しの一方で、営業活動のさらなる強化による既存製品の販売拡大と、顧客のニーズを捉えた新製品の投入を進め、SG、IP、TAの各市場向け及びFA事業で、増収を見込んでいます。地域別では、国内及びアジア・オセアニアに加え、前期に経済停滞の影響を大きく受けた欧州での販売拡大を見込むとともに、底堅い景気拡大が継続する北米も含め、全エリアで増収を見込んでいます。利益面では、営業利益以下の各利益は増益を見込んでいます。売上原価は、海上輸送コストの上昇を織り込む一方で、前期に高コスト部材を使用した製品の販売が進んだことから、売上高比率の改善を見込んでいます。販売管理費は、事業活動の拡大に伴い費用は増加するものの、売上高比率は前期並みを見込んでいます。また、為替レートは、前期比円高水準で推移する前提としました。

## 株主様へのメッセージ

当社グループでは、中長期成長戦略「Mimaki V10」に基づき、売上高を成長させながら高い収益を継続的に生み出す企業基盤を構築し、2025年度までに営業利益率10%の達成を目標に取り組んでいます。今期は、この目標達成に向け、グループ経営方針を「進化する」と定め、今までの課題を踏まえて新しい次世代のミマキに向けて進化を遂げる1年とし、組織やプロジェクトが着実に発展し成長し続けることを目指して、全社をあげて取り組んでまいります。

なお、株主還元につきましては、今後の業績見通し及び安定かつ継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、2025年3月期の年間配当は、1株当たり30円(中間15円、期末15円)に増配とさせていただきます。ご予定です。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# “むずかしくない捺染”

## 環境と人に優しい 次世代捺染システム

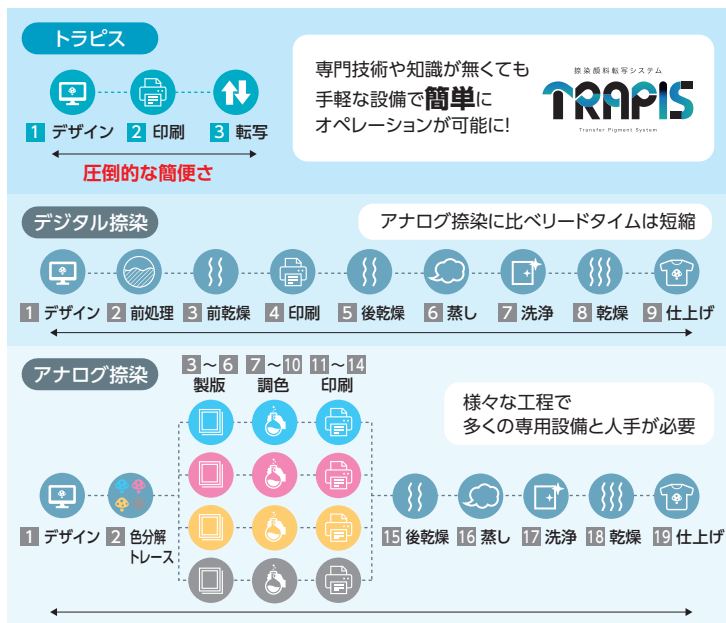


「TRAPIS(トラピス)」は、Transfer(転写)・Pigment(顔料)・System(装置)を名称の由来とした当社の顔料転写方式の捺染プリントシステムです。本システムは当社のインクジェットプリンタ、専用インク、専用転写紙、及び当社推奨の欧州メーカー製の専用転写機で構成されます。

これまでのアナログ捺染方式においては、染色の前後処理による化学物質混合排水が大量に発生(染料デジタル捺染の場合、1平米当たり約14.5リットル\*)し、環境問題となっています。また染色加工の工程が複雑であるため専門技術と知識を必要とし、さらに大規模な排水処理設備が必要など、導入場所の制限もあります。

\*デジタル捺染ではプリンタの布搬送用ベルトの洗浄水と染料定着(スチーム)後の生地洗浄により大量の廃水が発生する(当社調べ)

TRAPIS製品サイトはこちらをご覧ください



### TRAPISの特徴

#### Creativity

1台で  
様々な生地に対応

#### Operability

簡単な捺染  
どこでも導入

#### Sustainability

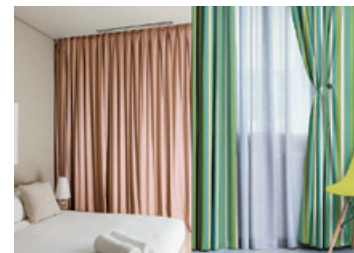
環境に優しい

## 製作例

### インテリアデコレーション

#### カーテン (リネン・ナイロン)

TRAPISは1台で多様な生地へのプリントが可能。多くの場面で内製化をサポートします。



#### 家具張り・カバー (ヘンプ・スパンデックス)

数メートルの生地でも簡単に柄入れし、1セットからの布張り装飾が可能。伸縮性のあるカバー生地のプリントでも特別な技術は不要です。



### ファッションアパレル

#### ジャケット

(コットンポリエステル・キュプラ)  
表裏で異なる生地のアパレルも1台で制作可能。1着からデザイン制作を一貫して行え制作期間の短縮に貢献します。



#### バッグ・ポーチ (綿・ポリエステル)

生産場所が離れていてもデザインを共有するだけで同じものを簡単に生産できます。必要な場所で、必要なものを必要な分だけ作り、無駄を出しません。



### 展示会出展レポート これらの製品/技術を展示会で披露目しました

2023年6月に開催された繊維機械のオリンピックとも言えるITMAで技術出展した「捺染顔料転写プリントシステム」を製品化し、環境と人に優しい次世代捺染システム「TRAPIS(トラピス)」としての発表に先立ち、2024年3月に開催されたFESPA Global Print Expo 2024(開催地/オランダ・アムステルダム)で世界初出展。廃水を約90%削減(従来方式比)、誰にでも簡単にでき、どこにでも導入可能な、「むずかしくない捺染」を提案し、1種類のインクで幅広い種類の生地プリントができるこのシステムによって、捺染を専門とする染色工場に限らず、様々な場所で様々な生地に、必要な時に必要な分だけ、小回りの利いた染色事業が可能となり、世界的にサステナブル化が求められる染色業界の標準に適合しています。



**SG IP** 大型フラットベッドUVインクジェットプリンタ「JFX600-2531」を発表

建築用材のガラス・パーティション・合板は長辺 3,000mmが標準サイズの一つであり、それらのプリントには主にロール型プリンタでプリントされたフィルムを貼り付けて制作されていました。本製品を用いることでそれらの材料にも直接プリントでき、フィルムの貼付けに必要な時間と専門技術が不要となります。またフィルム貼付けと比べ、高級な材料の場合でもデザイン部分以外は材料元来の風合いを残すことで、付加価値の向上につながります。



**IP FA** プリント自動化パッケージシステム「M2COA」シリーズを発表

「M2COA」は「協働ロボット」を採用したアームロボ1台が最大3台のプリンタと連動し、自動的にメディアを配置・印刷指示・回収するプリント工程自動化システムです。単純なメディア配置作業を自動化することで、プリント工程のオペレーターの作業時間を約90%削減し、自動化が困難な後加工や品質検査の仕事も担うことで人手不足を解決します。また無人運転も可能で1日あたりの生産量を約20%増加できます。



**TA** あがた 県テクニカルトレーニングセンター開設

本センターは、約420㎡のショールーム面積を有し、近年ラインナップがさらに充実している当社のTA市場向けのサステナブルソリューションのテスト環境をいつでもご利用いただけるショールームを設けることで、お客様のテキストスタイル・アパレルビジネスの持続性(サステナビリティ)の提案を強化してまいります。また、当社製品の保守サービスエンジニアの教育研修機能も備えています。



所在地:長野県東御市田中63-4 JA信州上田ラ・ヴェリテ 3F

**MIMAKI** 5年ぶりにミマキまつり(感謝祭)を開催

2023年10月7日(土)に前回第11回(第12回は台風19号のため中止)より5年ぶりとなるミマキまつりを開催いたしました。終日天気にも恵まれ無事に開催することができ、おかげさまで約3,234名の皆様にお越しいただきました。当社製品の大型インクジェットプリンタの実演、3Dプリンタ造形物を展示し、当社を知っていただきました。また、チャリティ抽選会の売上金全額、飲食ブース、チャリティ販売等の売上金の一部307,090円を、日本赤十字社に寄付しました。



当社は、2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)で定めた17の目標のうち、インクジェット技術で7つの項目に貢献してまいります



▶ **当社グループは、サステナビリティ対応の一環として、資源循環型の経営・技術に鋭意取り組んでいます**  
 これまでも独自のインクジェット技術で、社会・環境ニーズに貢献するデジタル・オンデマンドプリント事業の拡大を推進してまいりました。今後も、デジタルトランスフォーメーション(バリューチェーンを含めた新たな付加価値につながるデジタル化)を的確に捕捉し、さらに深化すると思われる無人化・省人化、高速化・高品質化、無水捺染等の高度な付加価値につながる社会・環境ニーズにいち早く対応できるよう取り組んでまいります。

▶ **デジタル・オンデマンドプリントの推進で、持続可能な社会の実現へ**  
 当社は、独自のラスター技術とベクター技術を駆使して、デジタル・オンデマンドプリントのさらなる進展を推し進めてまいります。

<b>節水</b> 染色による淡水汚染をインクジェットプリントで解消、昇華転写プリントで節水を可能に	<b>物流フローの削減</b> デジタル・オンデマンドプリントで物流フローを短縮
<b>在庫ロスの減少</b> インクジェットプリントでロスを最小限に	<b>生産設備の効率化</b> インクジェットプリントで環境に配慮した設備作りを可能に
<b>環境に優しいインクの開発・製造</b> 環境に優しく、オペレーターの健康負荷の軽減にも配慮したエコロジーインクを開発	<b>環境へ配慮したインクカートリッジ</b> 使用済みインクカートリッジ類の無償回収・再利用、エコインクカートリッジの採用

**MIMAKI × SDGs これまでの取り組み**

**廃棄物削減と社会福祉に寄与する使用済PCの寄付を始めました**

長野県の指定障害福祉サービス事業所「エコファおかや」へ、使用済PCの寄付を始めました。今後、同事業所へ当社より年間約100台寄付するPCは、障がいを持つ作業の方々(マイスター)が分解して貴金属等を回収し、その売却収益はマイスターの工賃となります。エコファおかやの加盟する日本基板ネットワークは、この事業が環境負荷低減と、障がいを持つ人々の工賃向上・自立に寄与するとして、第6回ジャパンSDGsアワード特別賞を受賞しています。廃棄物削減、資源循環、長野県の社会福祉に貢献するこの取り組みを、今後もPC寄付によって支持してまいります。



### 国内拠点

本社・牧家工場  
長野県東御市滋野乙2182番地3

加沢工場  
長野県東御市加沢1333番地3

丸子工場  
長野県上田市御嶽堂2535

長野開発センター  
長野県長野市北長池520番地1

東京開発センター  
東京都品川区北品川15丁目9番地41  
TKB御殿山ビル

八王子開発センター  
東京都八王子市北野町593番地6

JPデモセンター  
東京都品川区北品川15-5-25  
Sumビル 2・3階

営業拠点  
東京、大阪、札幌、仙台、長野、横浜、さいたま、西東京、北関東(宇都宮)、金沢、名古屋、京都、神戸、広島、四国(高松)、福岡、沖縄

### グループ子会社

● 子会社の主要な支店

大連アル法設計有限公司 (中国)

上海御牧貿易有限公司 (中国)

アルファーデザイン株式会社 (日本)

株式会社アルファシステムズ (日本)

株式会社砺波製作所 (日本)

株式会社ミマキプレジジョン (日本)

株式会社マイクロテック (日本)

御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司 (中国)

株式会社楽日 (日本)

MIMAKI VIETNAM CO.,LTD. (ベトナム)

MIMAKI EUROPE B.V. (オランダ)

Mimaki Bompan Textile S.r.l (イタリア)

MIMAKI THAILAND CO.,LTD. (タイ)

MIMAKI AUSTRALIA PTY LTD (オーストラリア)

MIMAKI INDIA PRIVATE LIMITED (インド)

MIMAKI SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)

PT.MIMAKI INDONESIA (インドネシア)

MIMAKI BRASIL COMERCIO E IMPORTACAO LTDA (ブラジル)

台湾御牧股份有限公司 (台湾)

Mimaki Lithuania, UAB (リトアニア)

Mimaki Deutschland GmbH (ドイツ)

Mimaki La Meccanica S.R.L (イタリア)

MIMAKI EURASIA DIGITAL BASKI TEKNOLOJILERI PAZARLAMA VE TICARET LIMITED SIRKETI (トルコ)

株式会社ミマキプレジジョン (日本)

株式会社アルファシステムズ (日本)

株式会社ミマキプレジジョン (日本)

株式会社マイクロテック (日本)

MIMAKI USA, INC. (アメリカ)

### 沿革

1975年	8月	(有)ミマキエンジニアリング設立	2004年	4月	(株)ミマキプレジジョン設立	2009年	1月	ISO14001認証(審査登録)	2016年	4月	MIMAKI EURASIA設立	2022年	3月	(株)マイクロテックを子会社化
1981年	5月	(株)ミマキエンジニアリングに改組	4月	4月	MIMAKI EUROPE設立	6月	6月	上海御牧貿易有限公司設立	7月	7月	JPデモセンター開設	4月	4月	東京証券取引所プライム市場に移行
1983年	12月	OEM向けA2フラットベッドペンプロッタRY-1003開発開始	9月	9月	長野県東御市に牧家工場取得	8月	8月	平湖御牧貿易有限公司設立	7月	7月	ラボセンター開設(TA・IP)	6月	6月	MIMAKI VIETNAM設立
1985年	2月	「北斎」の商標で、A2フラットペンプロッタ販売開始	2005年	4月	テクニカルコールセンター開設	11月	11月	MIMAKI INDONESIA設立	8月	8月	Mimaki La Meccanicaを子会社化	7月	7月	沖縄営業所開設
1986年	3月	加沢工場操業開始	2006年	4月	(株)グラフィッククリエーションを子会社化	4月	4月	MIMAKI AUSTRALIA設立	10月	10月	Mimaki Lithuania設立			
1995年	7月	台湾御牧股份有限公司設立	8月	8月	本社を長野県東御市滋野乙に移転	4月	4月	MIMAKI SINGAPORE設立	2月	2月	Mimaki Bompan設立			
1999年	1月	ISO 9001認証(審査登録)	2007年	3月	ジャスダック証券取引所上場	7月	7月	MIMAKI INDIA設立	6月	6月	アルファーデザイン(株)を子会社化			
	9月	MIMAKI USA設立	12月	12月	御牧噴墨打印科技(浙江)有限公司設立	3月	3月	東京証券取引所市場第一部に市場変更	11月	11月	(株)楽日を子会社化			
2003年	10月	長野開発センター開設	2008年	7月	Mimaki Deutschlandを子会社化	7月	7月	八王子開発センター開設	3月	3月	MIMAKI THAILAND設立			
						5月	5月	滋野ショールームオープン						



Drafting Plotter  
ドラフティングプロット

**1985**  
2月 **MF-120**  
A2フラットペーパープロット

**1986**  
4月 **MX-11/10**  
サーボ方式縦型ペンプロット

**1988**  
7月 **MX-11/10P**  
鉛筆プロット

**1989**  
5月 **MR-11**  
サーマルプロット

**1987**  
3月 **MF-220C**  
A2フラットカットティングプロット

**1989**  
10月 **CG-90SD**  
縦型カットティングプロット

**1990**  
1月 **CG-120**  
ロール自動送り付カットティングプロット

**1988**  
6月 **CG-45**  
デスクトップカットティングプロット

**1991**  
6月 **MC-300S**  
卓上カットティングプロット

**1991**  
9月 **CG-120**  
120cm幅フラットベッドカットティングプロット

**1988**  
11月 **CG-90AP**  
Aバブル用型紙カッター

**1991**

4月 **MX-760/790**  
高速鉛筆プロット

**1993**  
1月 **MX-340/360/390**  
ローコスト鉛筆プロット

**1989**  
11月 **MR-1600**  
LED方式プロットA1版

**1994**  
5月 **MR-1900**  
LED方式プロットA0版

**1995**

3月 **JP-560/590**  
モノクロインクジェットプロット

**1997**  
12月 **JP-660/690C**  
フルカラーインクジェットプロット

Cutting Plotter  
カットティングプロット

**1987**  
3月 **MF-220C**  
A2フラットカットティングプロット

**1989**  
10月 **CG-90SD**  
縦型カットティングプロット

**1990**  
1月 **CG-120**  
ロール自動送り付カットティングプロット

**1988**  
6月 **CG-45**  
デスクトップカットティングプロット

**1991**  
6月 **MC-300S**  
卓上カットティングプロット

**1993**  
2月 **HF-500**  
熱ベックカットティングプロット

**1991**  
9月 **CG-120**  
120cm幅フラットベッドカットティングプロット

**1988**  
11月 **CG-90AP**  
Aバブル用型紙カッター

**1992**

1月 **CG-50**  
高速カットティングプロット

**1993**  
2月 **HF-500**  
熱ベックカットティングプロット

**1996**  
10月 **CAM LINK**  
カットデータ変換・出カソフトウェア

**1994**

1月 **CG-6/9/12**  
海外向けローコストカットティングプロット

**1995**  
1月 **Vector Link**  
PS対応カットティングソフトウェア (MacOS)

**1993**  
8月 **CG-51/61/101/121**  
ローコストカットティングプロット

Inkjet Printer  
インクジェットプリンタ (IJP)

**1996**  
10月 **JV-1300**  
水性顔料インクフルカラー IJP

**1998**  
4月 **JV2-130**  
6色顔料インクフルカラー IJP

**1999**  
11月 **JV2-180**  
大型カラー IJP

**2001**

6月 **JV4-130/160/180**  
大型フルカラー IJP

**2002**  
9月 **JV3-130S/160S**  
ソルベント IJP

**2003**

1月 **DM2-1810**  
大型フラットベッド IJP

**2004**  
3月 **UJV-110**  
ロールタイプ UV硬化 IJP

**2005**

3月 **GP-604D**  
抜染液対応 IJP

**2006**  
1月 **Mimaki Profile Master**  
カラーマネジメントシステム

**2007**

1月 **UJF-605C II**  
フラットベッドUV硬化 IJP

**2008**  
1月 **IPF-1610B/1610B-U**  
産業用フラットベッドUV硬化 IJP

**2009**

2月 **JV33-260**  
超ワイドソルベント IJP

**2010**  
10月 **FineCut8**  
プラグインカットティングソフトウェア

**2011**

3月 **JV34-260**  
スーパーワイドフォーマット IJP

**2012**  
2月 **UJF-3042HG**  
LED-UV方式フラットベッド IJP

**2013**

11月 **JFX-1631plus**  
LED-UV方式大型フラットベッド IJP

**2014**  
6月 **JV300-130/160**  
ソルベント IJP

**2015**

2月 **TS500P-3200**  
昇華転写 IJP

**2016**  
2月 **TS500P-3200**  
昇華転写 IJP

**2017**

11月 **UCJV300-160 UCJV150-160**  
UV硬化インク搭載 Newテクノロジープリンタ LED-UV方式 IJP

**2017**  
12月 **JV300-190**  
ソルベント IJP

**2018**

7月 **UCJV300-75/107/130**  
UV硬化インク搭載 プリント&カット対応 IJP

**2019**  
9月 **CG-75/130/160**  
高精度・高機能カットティングプロット

**2021**

2月 **TS100-1600**  
昇華転写用 IJP

**2022**  
2月 **CG-AR Series**  
コストパフォーマンス・カット性能・ユーザビリティ

**2022**

2月 **JV100-160**  
Roll to Roll IJP

**2023**  
2月 **CFX Series**  
ハイエンドフラットベッドカットティングプロット

**2004**

1月 **Fine Cut**  
Illustrator用プラグインカットティングソフトウェア

**2005**  
10月 **CG-75ML+JV3-75SP II**  
プリンタ&カットティングユニット

**2006**

1月 **Mimaki Profile Master II**  
カラーマネジメントシステム

**2006**  
3月 **Simple Cut**  
カットティングアプリケーションソフトウェア

**2008**

1月 **IPF-1610B/1610B-U**  
産業用フラットベッドUV硬化 IJP

**2008**  
1月 **CF3-1631/1610**  
ルータ対応大型フラットベッドカットティングプロット

**2010**

10月 **FineCut8**  
プラグインカットティングソフトウェア

**2011**  
5月 **CG-100SR II**  
高性能カットティングプロット

**2012**

2月 **UJF-3042FX**  
LED-UV方式フラットベッド IJP

**2013**  
4月 **CG-60/100SR III**  
高性能カットティングプロット

**2014**

6月 **JV300-130/160**  
ソルベント IJP

**2015**  
2月 **CFL-605RT**  
小型フラットベッドカットティングプロット

**2016**

2月 **TS500P-3200**  
昇華転写 IJP

**2017**  
11月 **CF22-1225**  
フラットベッドカットティングプロット

**2017**

11月 **UCJV300-160 UCJV150-160**  
UV硬化インク搭載 Newテクノロジープリンタ LED-UV方式 IJP

**2018**  
9月 **FX II Plus**  
高精度・高機能カットティングプロット

**2018**

7月 **UCJV300-75/107/130**  
UV硬化インク搭載 プリント&カット対応 IJP

**2019**  
7月 **FX II Plus**  
高精度・高機能カットティングプロット

**2019**

3月 **JV300-130/160Plus**  
Eコソルベントインク搭載 大判 IJP

**2020**  
3月 **JV300-190**  
ソルベント IJP

**2020**

3月 **JV300-130/160Plus**  
Eコソルベントインク搭載 大判 IJP

**2021**  
2月 **TS100-1600**  
昇華転写用 IJP

**2021**

9月 **UJF-7151 plus II**  
フラットベッドLED-UV方式 IJP

**2022**  
2月 **CG-AR Series**  
コストパフォーマンス・カット性能・ユーザビリティ

**2022**

4月 **JFX600-2513**  
大型フラットベッドLED-UV方式 IJP

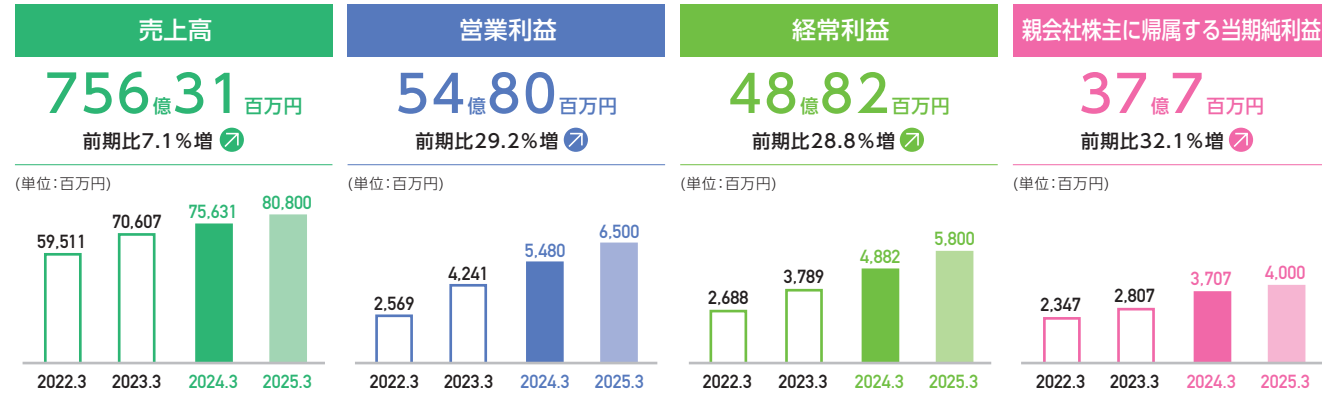
**2023**  
2月 **CFX Series**  
ハイエンドフラットベッドカットティングプロット

**2023**

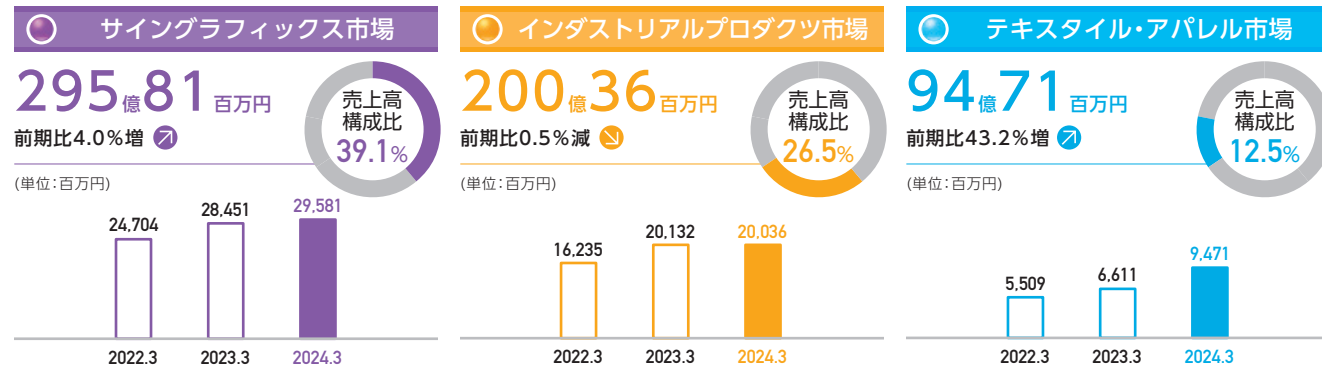
4月 **TxF150-75**  
ミマキ初DTFプリンタ

**2023**  
2月 **CFX Series**  
ハイエンドフラットベッドカットティングプロット

連結業績ハイライト



市場別状況

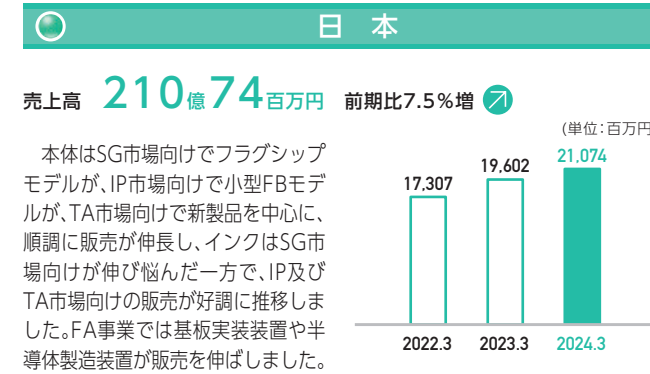


本体は、UVインクモデルやフラグシップモデルの販売が増加したものの、前下期にバックオーダー解消に伴い販売が拡大した欧州や北米では、既存モデルを中心に販売が減少しました。一方で、インクの販売は堅調に推移し、為替のプラス影響もあり増収となりました。

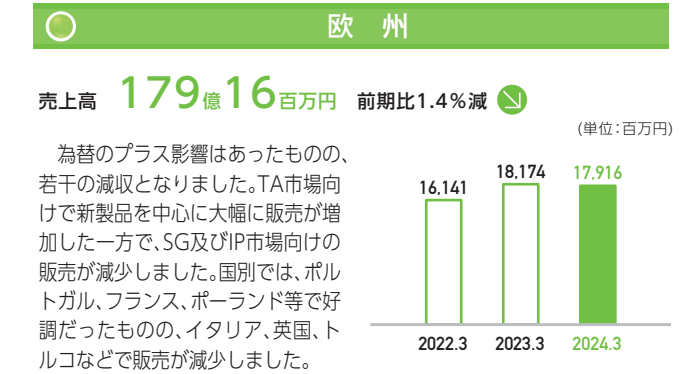
本体は、新製品の販売が大きく伸長した前期との比較では減少したものの、インクの販売が好調に推移し、為替のプラス影響もあり前期並となりました。

本体は、先進国を中心に当期から投入したDTF機の販売が好調に推移しました。また、同じく当期から販売開始した高速昇華転写モデルも着実に立ち上がり、加えてインクの販売も堅調に推移し、大幅な増収となりました。

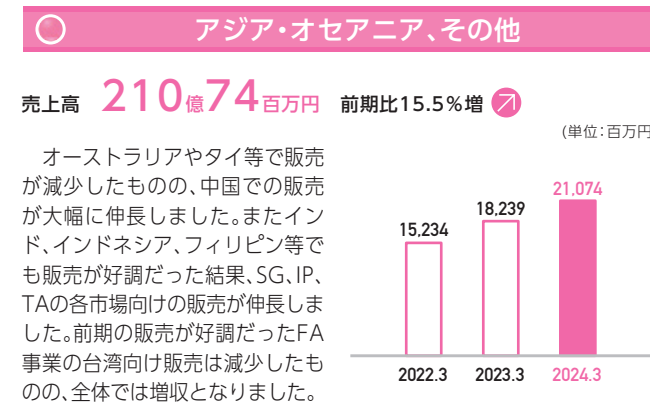
地域別状況



本体はSG市場向けでフラグシップモデルが、IP市場向けで小型FBモデルが、TA市場向けで新製品を中心に、順調に販売が伸長し、インクはSG市場向けが伸び悩んだ一方で、IP及びTA市場向けの販売が好調に推移しました。FA事業では基板実装装置や半導体製造装置が販売を伸ばしました。



為替のプラス影響はあったものの、若干の減収となりました。TA市場向けで新製品を中心に大幅に販売が増加した一方で、SG及びIP市場向けの販売が減少しました。国別では、ポルトガル、フランス、ポーランド等で好調だったものの、イタリア、英国、トルコなどで販売が減少しました。



オーストラリアやタイ等で販売が減少したものの、中国での販売が大幅に伸長しました。またインド、インドネシア、フィリピン等でも販売が好調だった結果、SG、IP、TAの各市場向けの販売が伸長しました。前期の販売が好調だったFA事業の台湾向け販売は減少したものの、全体では増収となりました。



個人消費を中心に堅調な景気拡大が続くなか、TA市場向けの販売が新製品やフラグシップモデルが好調で大幅に伸長しました。SG及びIP市場向けでは、本体の販売が伸び悩んだものの、インクの販売は好調に推移しました。以上に加え為替のプラス影響もあり、増収となりました。

